BUSINESS AREAS OF THE KYUDEN GROUP 九電グループの事業領域

総合エネルギーサービス事業に加え、再エネ事業、海外事業、ICTサービス事業、都市開発事業等の成長事業をグループー体となって推進しています。

総合エネルギーサービス事業



発電事業

● 詳細はP.29

S+3Eの視点から、最適なエネルギーミックスの実現に取り組む。カーボンマイナスの早期実現に向けて、原子力の最大限活用や火力の低炭素化を推進し、安定供給と脱炭素化の両立を目指す。



小売事業

● 詳細はP.30

お客さまのニーズの多様化を踏まえた料金プラン・サービスを提供。また、カーボンマイナスの実現に向けて、 家庭・業務部門それぞれにおける電化率向上に取り組む。



送配電事業

● 詳細はP.31

発電所で作られた電気をお客さまに安定的にお届けする。設備の効率的な形成や適切な維持を通じ、停電事故低減や電力品質の向上を図るとともに、再エネ受け入れ拡大に取り組む。



再エネ事業

▶ 詳細はP.35

九電みらいエナジーを中核に、再エネ5電源(太陽光・風力・地熱・水力・バイオマス)の開発・運営・販売を ワンストップで展開。強みである地熱・水力をはじめ、ポテンシャルの大きな洋上風力等の国内外の再エネ開発 を推進。



海外事業

▶ 詳細はP.36

九電グループの強みとポートフォリオを考慮し、ガス火力や送配電等の事業領域において自ら案件を組成するとともに、九電グループのバリューチェーン全域を活用したグループ連携等により、新たな事業エリア、事業領域への拡大を推進。



ICTサービス事業

● 詳細はP.37

安定供給を支える高信頼度の通信ネットワークや情報通信システムの維持運用で培った技術を活かし、ICT サービスを提供。社会のデジタル化進展に伴う需要拡大を追い風に取組みを推進。



都市開発事業

▶ 詳細はP.38

エネルギーをはじめ、不動産開発、官民連携事業等、これまでの事業活動で培ってきた知見・ノウハウを活かし、都市開発事業を展開。電気事業とのシナジーを発揮し、取組みを推進。

事業シナジーのイメージ



九電グループは、総合エネルギーサービス事業(発電・小売・送配電)で培った技術やノウハウを、成長事業(再エネ・海外・ICTサービス・都市開発)に戦略的に展開してきました。

「経営ビジョン2035」では、2030年度時点で連結経常利益の 半分を総合エネルギーサービス事業、半分を成長事業で稼ぐことを 目標に掲げており、今後も事業間の連携を強化して相乗効果を最 大限に発揮することで、事業ポートフォリオ全体で成長していくこと を目指します。